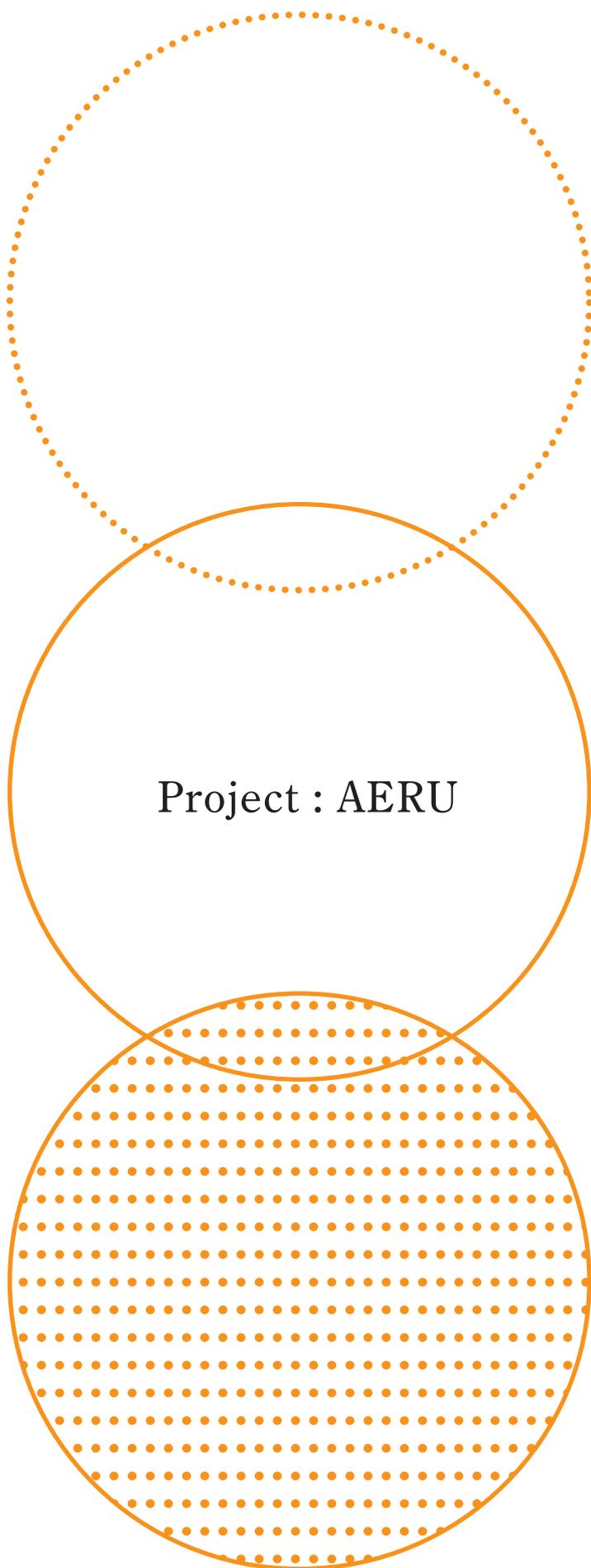


# 金沢大学地域思考型教育

2023年度【実践報告書】



# AERU@TOBIRA

～ 3つのコンセプト～

3

個性や強みを

和える

一人一人がつながり、  
相乗効果を生み出す。

2

みんなで学び

合える

互いに気づきや  
刺激を受け取り、  
共に学ぶ。

1

いろいろな人に

会える

多様な人々が集う、  
出会える場を  
提供する。

## Contents

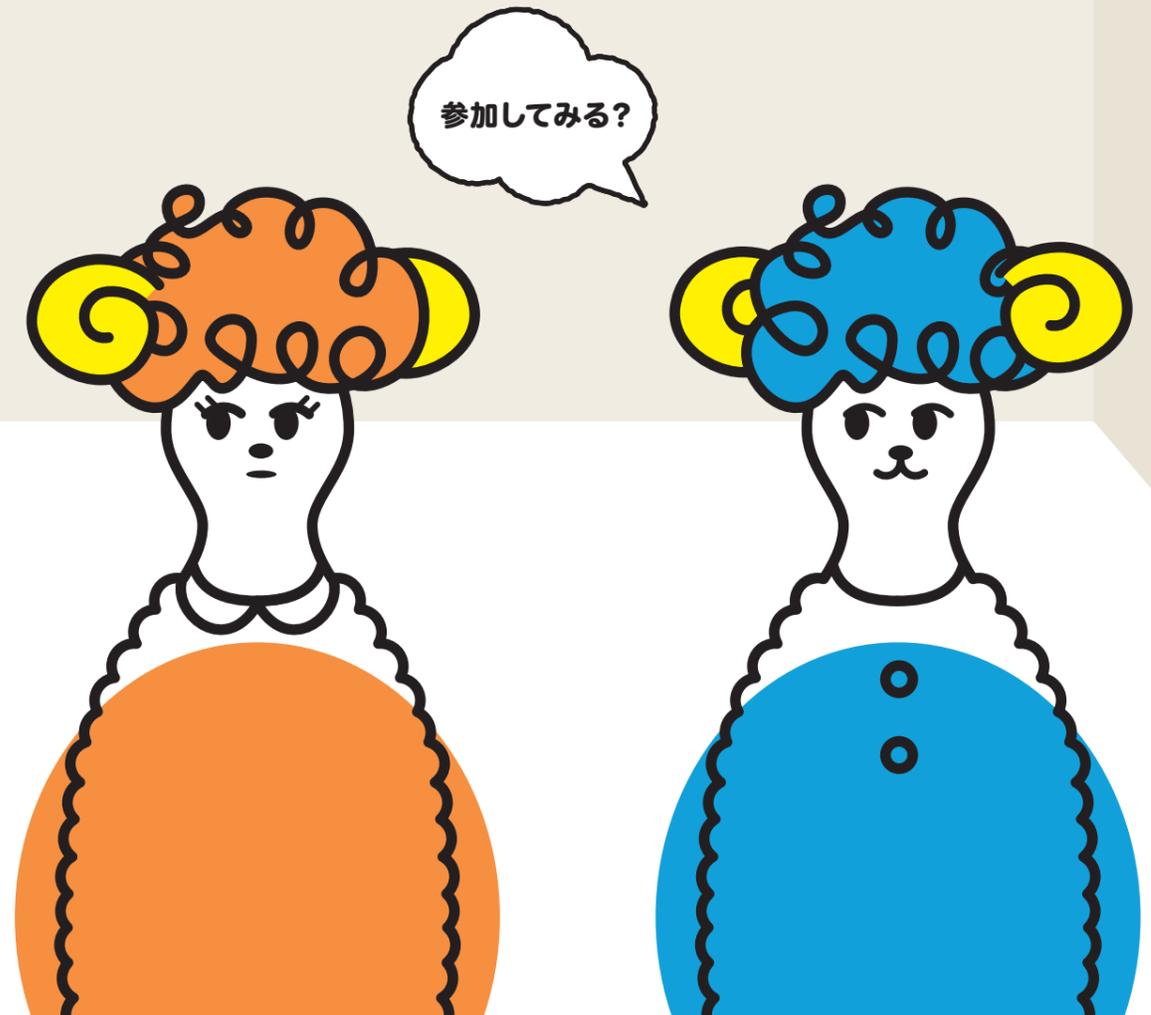
- 03 事業概要
- 06 いろいろな人に会える  
雑談の子カラ
- 11 みんなで学び合える  
地域体験型プログラム
- 17 個性や強みを和える  
目標達成型プログラム

アエル

# Project:AERU

あなたは大学生活にどんな印象がありますか？  
講義、課外活動、アルバイト。新たな出会い。  
明るいイメージが思い浮かびます。  
就職活動や進学、学類・コース選択など。  
自分の思い通りにいかず、  
悩むこともあるかもしれません。  
新しい挑戦がしたい。活躍する人と話したい。  
次のステージに進むヒントが欲しい。  
そんな金沢大生のお手伝いをするのが  
AERUの使命です。  
地域をフィールドに、「自ら学び自ら育む」機会を。  
出会う、つながる、学び合う。  
最後は、きつと笑顔になるはず。

参加してみる？



## 参加・参画 メリット

### 金沢大生

- 学生同士、社会との接点の増加
- 体験や実践による成長
- 学類選択、キャリア選択の契機
- 就職活動の自己PR

### 企業

- 商品開発等のアイデア創出
- 商品・サービスへのフィードバック
- CSR活動の拡充
- 大学生との接点の増加

### 自治体

- 包括連携協定に基づく取組強化
- 若者参入による地域活性化
- 施策立案等のアイデア創出
- 地域の魅力発信・課題解決



# 地域社会の活性化を担う「金沢大学ブランド」人材へ

個性や強みを

3

和える

## 目標達成型 プログラム

情報発信や新商品開発など、企業・自治体からの要望に応じたミッションを学生に与え、課題解決に取り組むプログラムです。学生のより実践的な活躍の機会を創出します。

AERUを通じて、  
金沢大生の  
成長を促進

社会課題  
解決



異分野融合

アントレプレナー  
シップ醸成

みんなで学び

2

合える

## 地域体験型 プログラム

地域の文化体験、農林水産業などの職業体験を通じて、地域に根づく働き方・生き方、モノの価値の本質を学びます。

## 大学での学びを深める3つのアプローチ

Project : AERUは、金沢大生を対象にした地域参加型の課外活動プログラム(地域思考型教育)の総称です。各種授業科目や学類のカリキュラムと連関して、本学における学びをより深化させ、「金沢大学ブランド」人材への成長を促します。

※課外活動のため、参加による単位取得はできません(2024年3月現在)

地域の  
魅力・課題  
探求



文化・風土への  
理解向上

スキルアップ

いろいろな人に

1

会える

## 雑談のチカラ

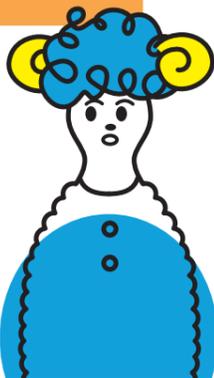
学生のキャリア形成のきっかけとして、地域の有識者やトップランナーと気軽に語り合う機会を提供します。

多世代・異分野  
交流



ネットワーク  
構築

キャリア形成





いまの偶然を、未来の必然に。  
**雑談のチカラ**  
ZATSUDAN NO CHIKARA PROJECT by KANAZAWA UNIVERSITY

「社会とつながる／自分を知る」きっかけは、ちょっとした「雑談」から。  
学生、教員、社長、職人、業界人。いろいろな人が集まります。

雑談のチカラは、金沢大学の教職員・学生と地域・社会との共創の契機として、自由な語り合い(雑談)の場を創出する全学的交流事業です。職種・業種や立場などに捉われない「雑談」により、学生のキャリア形成、教職員および協力団体・個人のアイデア創出、ネットワーク構築につなげます。  
Project : AERUでは、先端科学・社会共創推進機構の篠田隆行准教授が進行役となり、学生が地域・社会との接点を持つきっかけとして、1年を通してさまざまな「雑談のチカラ」を実施しました。

### 地域で起業した経営者と「春巻きをカルチャーに」を考える

学生12名  
ゲスト1名

北陸ではじめて春巻き専門店を起業した佐藤大輔氏から、営業職から起業に至った経緯や、人生において大切にしていることについてお話を伺いました。  
「春巻きを金沢のカルチャーにしたい」という佐藤氏の熱い想いを聞き、学生たちは何ができるかを考え、「金沢大学で移動販売をする」「SNSに力を入れて毎日投稿する」などの意見を出し合いました。「誰にでも最初の一步目はある。恐れずに挑戦して!」という佐藤氏の激励に、学生たちは大いに刺激を受けました。



雑談のチカラ「地域で起業する  
—春巻きをカルチャーに—」7月5日(水)  
ゲスト:佐藤 大輔氏(はるまき家)  
会場:角間キャンパス



7/5 Wed.

7/14 Fri.

2023  
6/30 Fri.



### 地域でイノベーションを起こす新しい働き方について語り合う

学生11名  
ゲスト2名

NPO法人ETICの発足から法人化までの歴史やテイル組織※について、伊藤淳司氏にお話しいただき、「どこにいても誰でも地域と関わる事ができる」と題して全国各地での地域課題解決の取り組みの説明を受けました。  
その後、各グループに分かれ「新卒でNPO法人に就職したのはなぜか?」「インターンシップと学校の両立の仕方」などをテーマに語り合いました。  
※テイル組織:伝統的なピラミッド型の組織モデルではなく、個々のメンバーが自律的に意思決定する組織のこと。



雑談のチカラ「Meet up! 地域でイノベーションを起こす新しい働き方」7月14日(金)  
ゲスト:伊藤 淳司氏(NPO法人ETIC)  
会場:角間キャンパス

#### 学生 VOICE!

- ◎地域のコーディネーターであったり副業で関わるなど、地域に貢献するさまざまな方法があることを知った
- ◎NPOが地域でさまざまな取り組みを行っていることを知り、楽しく充実した時間だった

### 「地域スポーツチームのスポンサーになる理由」とは?

学生12名  
ゲスト7名

ツエーゲン金沢事業企画部の中村勇介氏にサッカー業界の現状をお話しいただいた後、ツエーゲン金沢スポンサー企業の各ご担当者より、地域サッカーチームのスポンサーになった経緯を伺いました。  
ゲストと学生はグループに分かれ、メンバーを随時交代しながら語り合いました。地域スポーツの存在や今後の展望から就職活動などについても話が広がり、雑談は大いに盛り上がりました。



#### 学生 VOICE!

- ◎若いうちは考えすぎずに楽しんでほしいと言われたことが印象に残っている
- ◎就活のアドバイスをいただけて参考になった

雑談のチカラ「企業が地域のスポーツチームのスポンサーになる理由」6月30日(金)  
ゲスト:中村 勇介氏(ツエーゲン金沢事業企画部)、明治安田生命保険相互会社ご担当者、株式会社月星製作所ご担当者、パンフィック不動産株式会社ご担当者  
会場:角間キャンパス

## 「本当にすごい！」公務員と語り合う

学生5名  
ゲスト1名

全国で12名だけが選ばれる「地方公務員アワード2023」を受賞した福井県高浜町産業振興課の中村広花氏に、公務員を選んだ経緯や仕事についてお話しいただきました。

「船に乗って網を引いたり、魚を選別したりと現場に出ていることが多いので公務員らしくない、と言われることも多いのですが、『その地域のために』『人と人をつなげ』『発信する』ことは、『公務員らしい』のではないかと語る中村氏。雑談では「普段はどんなことを考えてるか?」「どうやって味方を増やしてきたか?」などの質問が飛び交いました。



雑談のチカラ「全国で12人だけの地方公務員が本当にすごい!と思う公務員と語ろう」11月29日(水)  
ゲスト:中村 広花氏(福井県高浜町産業振興課)  
会場:角間キャンパス

学生

### VOICE!

- ◎公務員という職業や働くことについて、イメージや考え方がガラッと変わる1時間半だった
- ◎やりがいは自分で作り、見つけ出すもの。すぐに行動に移すことを実践されている方からの言葉だったので、説得力があり憧れの存在になった

## 山出保 元金沢市長と金沢の魅力について雑談

学生30名  
ゲスト1名

元金沢市長の山出保氏より「金沢の魅力を考える」と題して、金沢の魅力とその背景、市長として尽力された経験から「金沢らしさとは何か」についてお話しいただきました。「好奇心を大事にし、悪戦苦闘しながら頑張るってほしい」との激励がありました。



雑談のチカラ「未来への架け橋 一元金沢市長と語るまちづくり」7月19日(水)  
ゲスト:山出 保氏(元金沢市長)  
会場:角間キャンパス

学生

### VOICE!

- ◎金沢に備わっている資源・魅力を、これからどう活用していくのが重要だと感じた
- ◎観光都市金沢がますます好きになった

11/29 Wed.

2023  
7/19 Wed.

12/3 Sun.



## 富山県高岡市で「牛の幸せ」を考える

学生18名



「牧場見学・酪農体験プログラム」12月3日(日)  
ゲスト:青沼 光氏(株式会社clover farm代表)、西出 稜氏(西出牧場)、くろべ牧場まきばの風スタッフ  
会場:clover farm

本プログラムは、地域交流牧場全国連絡会北陸ブロックとの連携事業として、現場での体験や酪農関係者との交流を通じて酪農の魅力や課題を理解する機会とするものとして、昨年度より実施しています。

牛の健康を考えて、牛舎の中でもつなぎ飼いはしなう「Happy Daily Cows」を理念とする株式会社clover farm代表の青沼光氏。牛の幸せを意識しており、「1000年後も日本で酪農が続くように、乳牛の役割や価値を発信することが私の役目」と語りました。地域に開かれた牧場を目指し、新しい牛舎は、晴れた日には牛舎が道路から見えるように工夫されています。また、ゲストの方々からは酪農家になった理由などを伺いました。

最後に、「若手酪農家を増やす方法」「牛乳を普段の生活に取り入れてもらうには?」などをテーマに、グループで話し合いました。

学生

### VOICE!

- ◎地球環境問題に配慮した取り組みやゴミのサイクル利用などにも関係しており、これまでの考えが覆った
- ◎酪農は臭いが強いと思っていたが、抑えられており驚いた
- ◎乳牛が繋がれていないことが衝撃的だった

10/3 Tue.



## 金沢の老舗酒造メーカーと語り合う

学生11名  
ゲスト2名

株式会社福光屋専務取締役の福光太郎氏に自身の経験をお話しいただき、福光屋が地域の中規模酒蔵として力を入れている発酵食品事業やスキンケア事業について紹介していただきました。

その後、グループに分かれて語り合いました。「専務」はどのような仕事をしているのか?「中規模酒蔵としてのマーケティング」などを話題に語り合いました。

学生

### VOICE!

- ◎自分の知らない働き方をしている方のお話が聞いて良かった
- ◎400年の歴史があり、その上で時代に合わせたマーケティングを行っていることが興味深く感じた



雑談のチカラ「進化し続ける老舗酒造メーカーの新たな挑戦」10月3日(火)  
ゲスト:福光 太郎氏(株式会社福光屋専務取締役)  
会場:角間キャンパス

# 南砺市連携事業

2014年12月に締結した金沢大学と富山県南砺市との包括連携協定に基づき、Project : AERUと同市の関係人口施策「南砺市応援市民」制度との官学連携事業の一環として2022年度から学生が地域の魅力発信や課題解決に取り組んでいます。



### 南砺市って？

南砺市は金沢市のすぐ隣で、富山県南西端に位置します。美しい散居村が広がる平野部から、世界遺産「五箇山合掌造り集落」を有する山間部まで、豊かな自然の中に懐かしく美しい日本の原風景が広がるまちです。また、豊かな風土に育まれた多様な伝統文化、食文化、芸術文化が展開されており、国内外にファンが多い地域です。



金沢大学は、2014年12月に富山県南砺市と包括連携協定を締結し、2016年4月には南砺市の支援を得て、五箇山相倉合掌造り集落内に「金沢大学セミナーハウス助市（すけち）」を設置しました。また2018年度、同集落の棚田オーナー事業に「金沢大学セミナーハウス助市」名義でオーナー登録しました。五箇山地域の活性化を支援するとともに、本学学生に対し、地域の人々と交流しながら地域の伝統文化を学ぶ機会を提供しています。

施設紹介  
五箇山セミナーハウス  
助市  
すけち



## 弁理士として活躍する先輩と雑談！

学生7名  
ゲスト1名

本学卒業生の丸山修氏より、弁理士の仕事やこれまでのキャリアについてお話伺いました。雑談では、愛知県職員としての経験や、働きながら弁理士の資格を取得し大学院に通った大変さなどが話題となり、学生から質問が飛び交いました。



学生

### VOICE!

- ◎弁理士の業務内容や資格について詳しく知ることができて面白かった
- ◎将来やりたい仕事明確ではなく不安だったが、「経験が無駄になることはない」という言葉を聞き、今は興味や関心のあることを突き詰めていこうと思った

雑談のチカラ「金大OBと語ろう！  
一文系×理系！？弁理士のお仕事編」12月13日(水)  
ゲスト：丸山 修氏(LTV特許事務所 弁理士)  
会場：角間キャンパス

2023  
12/13 Wed.

2024  
2/9 Fri.

## 働くって楽しい？ ミズノ社員との雑談

学生11名  
ゲスト1名



雑談のチカラ「『働きやすい職場環境』について考えよう！」2月9日(金)  
ゲスト：宮重 美帆氏(ミズノ株式会社)  
会場：角間キャンパス

商品企画に携わった経験から、「仕事は1年目で学び、2年目でこなし、3年目で自分のやりたいことを実現できるようにする」と語るミズノ株式会社の宮重美帆氏。労働組合の役員として休日増加や育児関連制度の充実などにも力を入れて活動していることに触れ、自分の働く環境を自分で変えることができるお話しいただきました。

学生

### VOICE!

- ◎「出会いは宝物」という宮重さんの座右の銘がとても印象に残った。人との出会いだけでなく、物や体験との出会いも含まれると聞き、感銘を受けた
- ◎やりたいことや考えていることは行動に移してこそ意味があり、そこでの出会いや気付きは値千金である、という話に共感した

## 出張販売を通じて地域の方と交流

学生6名



衣料品販売大手「しまむら」と生活雑貨ブランド「無印良品」が、平地域づくり協議会および南砺市と協力し出張販売を行いました。車や運転免許証を持っていない人々が近隣で買い物を楽しめるようにと実施しました。

学生たちは、一緒に洋服を選んだり、買い物を終えた方へのアンケートを実施。学生たちは地域の人々とのコミュニケーションを深める貴重な経験ができました。地域の方々からは温かい支援や感謝の言葉をもらい、地域住民との交流を通じて大きなやりがいを感じる活動となりました。

南砺市学生サポーター応援活動  
「平地域活性化支援活動  
—しまむら&無印良品出張販売—」  
6月15日(木)、11月28日(火)  
共催：富山県南砺市、平地域づくり協議会 会場：五箇山地区



学生4名



## わいわい広場で子どもたちと交流

学生8名



福野東部地区で毎年開催されている「TOBわいわい広場in東部交流の日」に出展しました。お楽しみコーナーでは、「木の実でワークシヨップ」「竹つみあげ競争」「パン食い競争」などを企画。ワークシヨップではどんぐりや松ぼっくりを使った秋のオブジェを地域の子どもたちと一緒に制作するなど、たくさんの子どもたちが参加してくれました。

「TOBわいわい広場in東部交流の日」  
10月29日(日)  
主催：福野東部地区振興会  
会場：福野東部体育館、年代農村公園

## ガイダンスで南砺市学生サポーターが決起!

学生19名



「応援活動ガイダンス&交流会」6月6日(火)  
ゲスト：影近 宏紀氏(南砺市総合政策部政策推進課)  
共催：富山県南砺市  
会場：角間キャンパス

南砺市総合政策部政策推進課の影近宏紀氏が、南砺市の特徴や課題、本事業の実施経緯について説明するとともに、学生たちが参加する応援活動の3つの枠組みとして「平地域づくり協議会と連携した応援活動」「福野東部地区振興会と連携した応援活動」「南砺の逸品の認知拡大活動」を紹介しました。本事業の統括者である篠田隆行准教授は「皆さんの活動が地域を盛り上げることにつながるので、楽しんで応援活動に取り組んでほしい」と激励。その後の交流会で、学生たちは自己紹介とともに本事業に対する思いなどを語り合い、互いに親睦を深めながら応援活動への熱意を高めました。

学生サポーターは3つの枠組みから参加する応援活動を選び、6月より本格的に活動に取り組みます。

## 五箇山の伝統料理体験

学生12名



五箇山の各家庭で春祭りの時に振る舞われる郷土料理を、地元の方に教えていただきながら一緒に調理しました。郷土料理は、「ゴボウとイワシの煮干しを炒めた「海干」、鶏肉とゴボウの吸い物、五箇山豆腐を使った「五箇山煮しめ」の3品です。その後、平地域づくり協議会が空き家を改修して作った憩いの場「ブック∞カフェすけろく」で手作りした郷土料理と、地元の方が作ったワラビの薄揚和えなどの合わせて7品を味わいました。

南砺市学生サポーター応援活動  
「五箇山の郷土料理体験」6月6日(火)  
共催：富山県南砺市、平地域づくり協議会  
会場：五箇山地区

### 学生 VOICE!

- ◎地元の方が大切にされている伝統料理のこだわりや思いなどを伺いながら体験でき、とても楽しかった
- ◎伝統は無理やり残すよりも、継承する人が魅力を感じ、継承されるべくして継承されることが望ましいと感じた



# 奥能登地域連携事業

## 輪島市黒島地区体感プログラム

輪島市黒島地区に赴いて地区を散策し、地元食材を使った料理や伝統的な踊りを体験することで、奥能登地域に対する理解を深めるプログラムです。Project : AERUに参加している学生自らが企画しました。

国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている黒島地区において代表的な回船間屋住宅である旧角海家住宅や黒島天領北前船資料館を見学し、伝統的な黒瓦と板張りの町並みを体感しました。続いて、黒島公民館に移動し、近海で取れた食材を使い、地元の方に教えていただきながらサザエ飯、メギスのだんご汁、ニ

シンの昆布巻き、もずく酢を調理するとともに、地元住民が愛用している日本三大魚醤の1つ「いしる」を使った独特の食文化に触れました。地元の方の指導のもと、海上安全、無事帰宅の願いを込め、夜を徹して歌い踊られた八千代栄（やっちょい）踊りを体験しました。

「輪島市黒島地区体感プログラム」  
9月8日(金)  
協力:輪島市門前町黒島地区  
会場:輪島市黒島地区

### 学生 VOICE!

- ◎黒島の歴史や文化、そこで暮らしている人の考えを直接聞いて貴重な体験だった
- ◎先人が残してきた伝統や文化を継承していくために、自分ができることを一つ一つ実行していきたい



学生11名



5月 田植え  
世界文化遺産に指定される五箇山相倉合掌造り集落で、昔ながらの手作業での田植えを体験しました。「ころがし」と呼ばれる木枠で水田に升目をつけた後、手作業で苗を丁寧に植え込みました。続いて、富山県立南砺高等学校の生徒が企画した相倉合掌造り集落ツアーに参加し、相倉集落の歴史や合掌造りの特徴について体感しました。その後、一行は空き家を改修した「ブック・カフェすけろく」に赴き、地元住民から五箇山の歴史や伝統文化について学びました。

9月 稲刈り&ハサ掛け  
手作業による稲刈りや、稲を乾燥するためのハサ掛けを体験しました。鎌の使い方やワラで稲を縛るコツなど、地元住民からの助言を得ながら収穫しました。その後、「ブック・カフェすけろく」で富山県立南砺高等学校の生徒と大受験や郷土芸能の話題を通して、交流を深めました。



11月 実りを味わう  
五箇山で収穫された米・そばなどの食材を使い、五平餅づくりやそば打ちを体験しました。完成した料理を地元の方々と囲み、収穫した秋の恵みを味わいました。その後、五箇山和紙の里に移動し、国の伝統的工芸品に指定される「五箇山和紙」の紙すきを体験。五箇山和紙の歴史や製造工程を学んだ後、職人らの指導の下、各々が決めたデザインで自分好みの和紙を仕上げました。

## 五箇山で農業体験



学生18名

### 手作業の田植えを体験

「五箇山・春の田植え体験」5月20日(土)  
協力:富山県南砺市、平地域づくり協議会 会場:五箇山相倉合掌造り集落



学生15名

### 秋の実りを収穫

「五箇山・秋の稲刈り&ハサ掛け体験」9月16日(土)  
協力:富山県南砺市、平地域づくり協議会 会場:五箇山相倉合掌造り集落



学生9名

### 収穫した食材で食と文化を堪能

「世界遺産で米作り。一大収穫祭」11月18日(土)  
協力:富山県南砺市、平地域づくり協議会 会場:富山県南砺市下梨、五箇山和紙の里

個性や強みを

3

和える

## トヨタ紡織株式会社連携事業

学生9名

全ての人が快適に移動でき、地域の魅力を引き出すモビリティ創出の検証を目的にトヨタ紡織本社などを見学しました。



トヨタ紡織株式会社見学の1日目はトヨタ会館で、最新の技術やトヨタが目指す社会についての理解を深めました。その後、トヨタ紡織株式会社の本社に移動し、トヨタ紡織歴史未来館にて同社の歴史を学びました。2日目はインキュベーション施設「なごのキャンパス」で、学生は

前日学んだことを振り返りながら、「全ての人が楽しめる地域の魅力を引き出すモビリティ」について同社社員らと意見を出し合いました。同社社員に向けて学生が「地域活性化における新たなモビリティ創出の調査研究」と題したProject: AERUの活動報告を行いました。



「トヨタ紡織株式会社見学」  
共催：トヨタ紡織株式会社  
会場：トヨタ会館（愛知県豊田市）、トヨタ紡織本社（刈谷市）

## 能登の生業体験プログラム—企業見学・生業体験—

石川県の能登キャンパス推進事業\*の一環として実施。

本学学生に加え、金沢星稷大学および北陸先端科学技術大学院大学の学生が参加しました。

学生15名

### 「能登の生業体験プログラム」とは？

石川県内の学生が能登地域の企業に赴き、実際に生業などを見学・体験するとともに、ビジネス的な観点から課題解決について議論や考察を行うことで、自身の体感として能登地域に対する理解を深めることを目的としたプログラムです。

#### ●イカの駅つくモール

能登町の情報発信拠点であるイカの駅つくモールを訪問。駅長代行の竹端孝雄氏より小木イカ漁の歴史やつくモールの概要を説明いただいた後、遊覧船「イカす丸」に乗船し、日本百景にも選ばれている九十九湾の景観美を体感しました。

#### ●ひらみゆき農園

能登町でブルーベリー農園事業を行っているひらみゆき農園を訪問し、同社代表の平美由記氏、農園長の中森実鶴氏の案内で柳田植物公園前にある観光農園を見学しました。その後、同社の加工場へ移動し、プロデューサーの瀬川しのぶ氏の指導でブルーベリーソース作り体験を行い、能登の里山里海を最大限に活用した地域の生業を体感しました。

#### ●「能登の里山里海学会 2023」に参加

「能登里山里海SDGsマイスタープログラム」の一環として珠洲市で開催された「能登の里山里海学会 2023」に参加しました。シンポジウムでは、高知県、神奈川県、福岡県での先進的な地域づくりの取り組みについて学びました。また、マーケットに出店する参加者との交流を深めながら、展示・販売する能登の海藻を使ったハーバリウムや能登町小木の郷土料理イカの甘酢漬、冬の香るパスソルト作りなどを体験し、地域資源を活用するソーシャルビジネスへの理解を深めました。



能登キャンパス推進事業「能登の生業体験プログラム—企業見学・生業体験—」  
協力：石川県、イカの駅つくモール、ひらみゆき農園 会場：イカの駅つくモール、ひらみゆき農園

学生

### VOICE!

- ◎ブルーベリーの加工という一次産業から二次産業の過程を味わうことができ貴重な体験だった
- ◎過疎化が進む地域で、新しいものを作って集客するのではなく、その地域特有の資源を生かしていることに魅力を感じた

※能登キャンパス推進事業  
高等教育機関が存在しない能登地域を一つのキャンパスとして見立て、能登地域を舞台とした学生の交流や教育研究活動、地域貢献活動等を通じて、高等教育機関と地域の連携を一層促進するとともに、能登の地方創生ひいては関係人口創出に寄与することを目的とした石川県の事業。

# ツエーゲン金沢スタジアム学園祭 2023 企画プロジェクト

学生7名

石川県をホームタウンとするプロサッカークラブ、ツエーゲン金沢。地元のスポーツチームが開催するイベントを盛り上げるための企画を考え、ブース出展などを通して若者の呼び込みに取り組みました。

ツエーゲン金沢との連携事業「ツエーゲン金沢スタジアム学園祭2023企画プロジェクト」として、西部緑地公園のスタジアム見学を実施しました。学生たちはスタジアム見学で試合前の雰囲気を感じ、9月17日に開催される学園祭ではどのような企画や出店が良いかを考えました。学園祭に向けて、ツエーゲン金沢の社員と共にアイデアを出し合い、学園祭を盛り上げる企画を検討していきます。



## イベントにブース出展



西部緑地公園で開催された「ツエーゲン金沢第3回スタジアム学園祭2023」にブース出展しました。出展ブースでは「金沢大学進路相談会」を実施し、中学生・高校生の進路、受験の相談に乗りました。その後、ハーフタイムに実施された「ガチンコ!? 学校対抗リレー」にProject:AERUチームとして参加し、イベントを盛り上げました。



# 加賀野菜商品開発プロジェクト

学生13名

加賀野菜を使った商品開発を2日間にわたって実施しました。

Project:AERU株式会社との連携で実施。1日目は、同社代表取締役CEOの中林幸宏氏から本プロジェクトの趣旨を説明していただき、その後、加賀太きゅうりとたけのこのそれぞれの生産者からその特徴や課題を聞き取りました。実際に試食して味や食感を確認し、チームに分かれて商品開発のためのアイデア出しを行いました。2日目は、各チームでプレゼンテーションの準備を行い、約5分間のプレゼンテーションを行いました。「ガスパチヨ風加賀太きゅうりスープ」や「たけのこを使った段ボール」、「きゅうりとたけのこのチップス」など、野菜の特徴を生かした商品のアイデアが発表され、今後の商品開発やProject:AERUの企画に役立てられます。



# さいがわスパイスカレープロジェクト

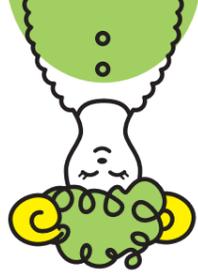
学生5名

スパイスカレーを通じた地域おこしを考えるプロジェクトが始動しました。



金沢市犀川地区地域おこし協力隊の山部裕太氏から本プロジェクトのきっかけや目的についての説明を受けた後、「地域におけるスパイスカレーの在り方」についての意見を交換しました。犀川地区の特徴やターゲット層、そして山部氏の想いを踏まえて、「犀川をカレーで表現できると面白いのではないか」「健康に良いカレーであれば女性は定期的に食べたくなるのではないか」といったアイデアが出され、スパイスカレーを通じた地域おこしへのイメージを膨らませました。





## 株式会社TOP連携プロジェクト

学生5名

越前たけふ駅周辺の観光客の移動手段として小型EV活用のためのヒアリングを行い、実現に向けてアイデアを出し合いました。

### 「株式会社TOP連携プロジェクト」とは？

本連携事業は2023年1月から始まり、学生と株式会社TOP社員とで意見交換を実施。2月に越前市で小型EVを試乗し、3月に小型EVの活用プランを発表しています。

越前市役所や道の駅、文化施設など4か所を訪問し、越前市の課題や文化資源についての理解を深めました。最後に株式会社TOPで小型EV活用の実現に向けてアイデアを出し合いました。

#### ●越前市役所

越前市の特徴や課題、政策などの説明を受け、市内の移動手段について意見を交換しました。

#### ●紫ゆかりの館

越前に滞在した紫式部の暮らしを品川満館長より説明していただき、学生からは、同館を訪れる観光客の属性や交通手段についての質問がありました。

#### ●道の駅越前たけふ

道の駅の展望や小型EVに期待することを谷口敏和駅長よりお話いただきました。

#### ●越前和紙の里卯立の工芸館

紙漉きを見学し、清水昌夫館長から観光客の観光目的などを説明していただき、越前市の文化資源について理解を深めました。

#### ●株式会社TOP

学生たちと同社社員が市内の道路状況、文化資源の魅力などを踏まえながら意見交換しました。「誰を対象としてサービスを提供していくのかを決める必要がある」「レンタカーより乗りたくなる強みや魅力を発信することが重要」「新幹線の駅や紫式部を扱う来年の大河ドラマを考えると観光客が増えるのではないかな」などのアイデアを出し合い、越前市における小型EVの活用についてイメージを膨らませました。



#### 小型EV出発式

福井県越前市の王子保駅にて、同社のお客様に向けて本プロジェクトの目的と経過を説明し、小型EV「TOPee」の運用開始を伝えるイベントを開催しました。

## 尾張町商店街夏祭りプロジェクト

学生6名

尾張町商店街で初めて開催する夏祭りを盛り上げるために「尾張町商店街夏祭りプロジェクト」を実施。夏祭りの魅力を発信し、集客に取り組みました。

尾張町商店街との連携事業「尾張町商店街夏祭りプロジェクト」として、地域の方に尾張町を案内していただきました。今回の街歩きで、尾張町の歴史的背景や魅力を体感し、夏祭りの企画・広報にどう生かしていくかを考えました。8月26日の夏祭り本番に向けて商店街の方と意見を出し合い、商店街の魅力を広く発信し、多くの人々を呼び込む企画を検討していきます。



### 「尾張町あんやとまつり」に参加



尾張町商店街で初めて開催された夏祭り「尾張町あんやとまつり」に学生スタッフとして参加しました。夏祭りの魅力を広く発信し、多くの人々を呼び込むために、商店街と協働で6月から準備を進めてきたプロジェクトです。

当日は、学生8名が金沢市長や演者のアテンド、舞台補助などの運営に携わりました。イベント中盤には学生が考案した尾張町にまつわるクイズ大会を実施し、檯上で司会進行を担当しました。地元の子供や大人だけでなく、学生、外国人観光客などたくさんの人が参加し、盛り上がりました。



あとがき

大学は、さまざまな専門分野を背景に、知的好奇心を持つ多くの人々が集い、それぞれの意見を持ち寄り、議論することができる場です。そして、より良い社会を構築するために新しい試みに挑戦できる場でもあります。

今年度(2023年度)、本プロジェクトはこれまでの経験を踏まえ、さまざまな新しい取り組みに挑戦しました。学生と企業の方による新商品の開発や新たな地域活動での共創など、議論だけでなく、より具体的な取り組みに発展させ、多くの実績をあげることができました。

そのように順調にプロジェクトが進行していくなか、令和6年1月1日に能登半島地震が発災、地域の多くの方々が被災し、厳しい生活環境を余儀なくされる事態となりました。被災されたみなさまには改めてお見舞い申し上げます。

本プロジェクトは、学生をはじめさまざまな方との共創により社会課題を解決する一助となるような活動を推進していくことを目的としております。今後は、能登半島地震からの創造的復興を実現するために、被災者の方々に寄り添いながら、復興に向けた事業も遂行してまいりたいと思います。

学長補佐(地域共創担当)  
先端科学・社会共創推進機構 人材育成グループ長  
篠田 隆行

本事業は、公益財団法人澁谷学術文化スポーツ振興財団様、南砺市様、トヨタ紡織株式会社様、株式会社福光屋様からのご支援、ならびに多くの地域の方々のご協力を賜り実施できました。  
ここに改めて深謝の意を表します。

### 編集責任者

篠田 隆行

### 編集構成

関藤 良子

金沢大学地域思考型教育 2023年度実践報告書

## 「AERUのTOBIRA」

2024年3月31日発行

発行 金沢大学先端科学・社会共創推進機構  
人材育成グループ  
〒920-1192 石川県金沢市角間町

印刷製本 能登印刷株式会社  
デザイン フルデザイン

本書の無断複写・複製、転載を禁じます。

## 株式会社福光屋連携プロジェクト

学生9名

老舗酒造メーカーのお米の発酵飲料の新フレーバーを開発し、  
試飲販売にも携わりました。



植物性乳酸菌「ANP71株」と麴で  
醸成させたお米の発酵飲料で福光屋  
商品「ANP71」の新フレーバーの  
開発に取り組みました。全25種類の  
フレーバーを考案し、試飲を重ね、  
湯涌産のゆずを使った「ゆずはちみつ」  
が完成。小さな六角形をモチーフに、  
こっくりとしたはちみつの茶  
色とゆずの淡  
い黄色で表現  
したパッケージ  
デザインも  
学生がアイデ  
アを出し合っ  
て決めまし  
た。



### 学生

#### VOICE!

◎メンバーとの話し合いの際に、どんなに小さなアイデアもためらわず共有することの大切さや分かりやすく適切な表現で商品の効果や効能を宣伝することの難しさを学びました！

#### 試飲販売

◎間近でお客様の反応を見られたことです。美味しいと喜んでくださったり、ANP71やこのプロジェクトに興味を持ってくださって応援してもらえたときはとても嬉しかったです！  
◎「はちみつの甘さで飲みやすい」や「酸味が強い!」というお声を直接聞くことができ、お客様の手にとってもらうまでの過程に関わることの緊張感や楽しさを実感しました



# Project : AERU

## 金沢大学地域思考型教育

2023年度【実践報告書】



プロジェクト詳細  
最新情報

[ お問い合わせ先 ]

金沢大学 先端科学・社会共創推進機構  
人材育成グループ

[https://www.kanazawa-u.ac.jp/society/distinctive/project\\_aeru](https://www.kanazawa-u.ac.jp/society/distinctive/project_aeru)

E-Mail [event@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:event@adm.kanazawa-u.ac.jp)